

入所リハビリテーション科より

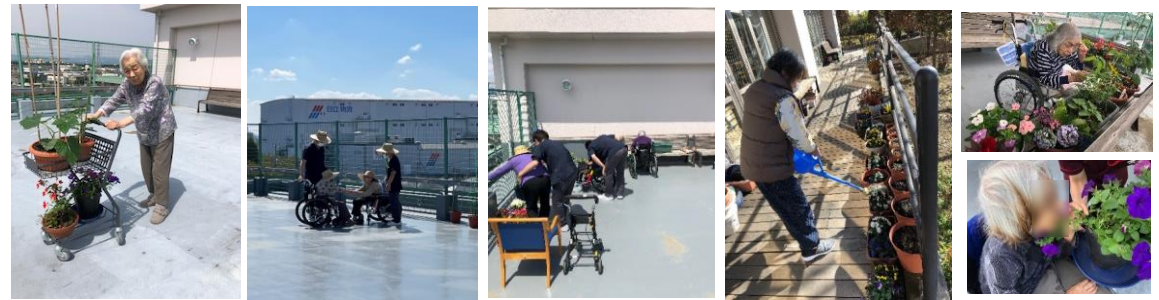
コロナ禍で外出が以前のようにできなくなりましたが、当施設においても感染予防のため、外出や屋外歩行、リハビリ室の使用時間などを制限しています。そのため、入所している利用者様もフロア内で過ごす時間が増えました。



そのような状況の中、気分転換や感覚を刺激する目的で、リハビリを屋上で実施する場面が増えていきました。

園芸は、そんな屋上の環境整備や、昔を思い出す1つの手段、作業を実施するツールや、移動目的の一つになりました。

栽培方法などを利用者様同士で話したり、職員に教えてくれる場面もあり、プランターを運ぶなど、社交性や役割を持つことにも役立ちました。



昨年、他部署の職員からチューリップの球根をリハビリ科に寄付してしてくれたことをきっかけに、利用者さんと共に「植える」「育てる」「鑑賞する」「球根の掘り下げ」を行ってきました。

今年10月には掘り下げた球根を、再び植えることができました！

更に職員やご家族様からの寄付も重なり、今年は沢山の利用者様に携わっていただけました。屋上や園芸を使う場面はリハビリの目的により様々です。これからも様々な方法で、利用者様が健康でイキイキとした生活ができるよう支援に努めていきたいと思ひます。

